

移住者新聞

2024
Vol. 1

二〇二四年五月
発行：日田市
商工労政課移住促進係



令和4年11月に福岡市より移住した青山繁和さん。
天瀬町の旅館で働きながら、自然豊かなひた暮らしを満喫している。

◆移住後の暮らし

天瀬町にある賃貸戸建てに住んでいます。こちらの物件は日田市空き家バンクに登録されていた物件で、移住者向けの支援を利用し快適に過ごせています。アウトドアが好きで、休みの日はバイクに乗ってキャンプに出掛けます。コロナ前はキャンプ好き仲間と行ってましたが、今は専らソロキャンプにはまっていますね。

天瀬町は自然が豊かで天国のようなどころです。家の近くに川が流れていて、最初は音がうるさく感じていましたが、今は慣れて気にならなくなりました。鳥の声も聞こえていいます。生まれては佐賀県唐津市で、家の前に川が流れていた故郷と環境が似ています。移住前にいた都会の街は、交通渋滞が苦痛で朝窓を開けたら排気ガスのおいがするし、人が多いことで気づかないうちにストレスが溜まっていました。山や田んぼが好きだと再認識したことが移住のきっかけになったんだと思います。

新年度が始まり早ひと月が過ぎました。季節の変わり目で体調を崩しやすくなっていますが、読者の皆様はお変わりないでしょうか。今月は日田市最大のイベント「第77回日田川開き観光祭」があり、市内一円最高に盛り上がること間違いなしですね！
今号は、福岡市から移住した青山さん取材しました。



ウクレレが趣味でたまに弾いています♪

約二年前に参加した移住相談会でZOO法人リエラさんが寄り添って相談を受けてくれました。なんせ土地勘がないので、とにかく情報収集が大事です。まずは住むところと仕事。リエラさんは最初から私に「したい仕事はありますか？」と聞いてくれ、移住してすぐに現在の勤め先につなげてくれました。移住にあたってつながらなくても不安ですからね。リエラさんは移住者の受入れに



慣れていて段取りも良く、大変助かりました。移住してから精神的に豊かに、そして楽になりました。福岡で暮らしていた頃はあまりここに来て揃えるようになりませんでした。ここでの暮らしを充実していきたいと思えたからです。いろいろお金はかかりましたが充足感を得ています。生のコーヒー豆を購入し焙煎してみたり、ケーキやパンを焼いたりしています。



バックナンバーはこちら



冬に水道管が破裂したことがあったんですが、賃貸だったおかげで家主さんが修理をしてくれました。昔の家は鉄製の管であることが多いので、家探しの段階ではわからないけどしばらく住んでみて壊れる箇所が見つかることもあるので、住宅購入を考へてる人は、入居後の修理費用を考慮しなければなりません。

◆現在取り組んでいること

天瀬町の温泉旅館街にある天ヶ瀬温泉成天閣に勤めていて、フロントやキッチン、客室など他の従業員と共に多岐にわたる業務を行っています。ちなみに旅館業は初めてです。

コロナ後のインバウンド客が増え、最近はやや中国からのお客様が増えています。



移住してすぐに勤務先が見つかりました！
天ヶ瀬温泉 成天閣

◆おすすめの場所

バイクに乗ってキャンプ場へ行くのにはまっています。最近によく志高湖キャンプ場に行きますね。阿蘇くじゅう国立公園に含まれていて湖が望めます。利用料も安く、行きたいと思っただけなら比較的すぐに行けますね。玖珠の杜もおすすめです。



◆ひた暮らしで伝えたい事、知ってほしい事

田舎はネット環境が必須なのですが、移住者向け支援のおかげでインターネット開通工事費の負担をせずに済みました。移住奨励品（公財）日田玖珠地域産業振興センターで使える商品券を進呈）をもらい、日田下駄や日田の物産を購入することに充てました。これらの支援制度の存在は助かりますね。また、山が近い場合、ムカデやカメムシなど暑い時期になると発生するので、虫が苦手な方は注意してください。

◆今後の目標

いずれは温泉が近くにある民泊所を開設したいですね。カフェを併設してお庭が見える景色がいいところを探しています。いろんな情報を集めてるので、いい物件がありましたら教えてほしいです。またソロキャンプも新たな場所を発掘しつつ充実させたいです。



令和4年10月に行われた移住体験ツアーに参加しました。充実したツアー内容でもっとひた暮らしが好きになりますよ♪

